

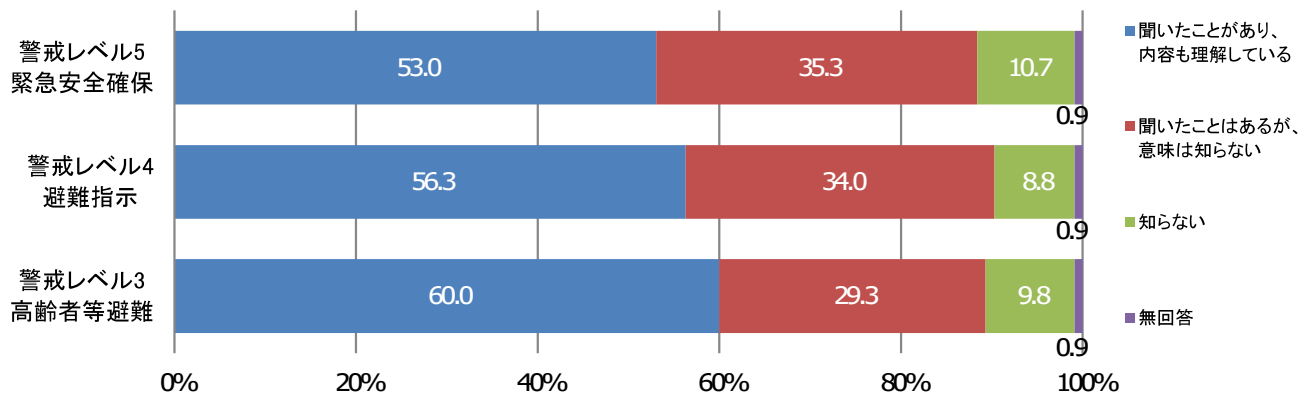
<風水害の対応について>

■問1 避難情報の認知度 (n=215)

「警戒レベル5 緊急安全確保」:すでに災害が発生している又は災害がおきてもおかしくない状況の時に発令。その場でとることができる少しでも身の安全を確保するための行動を直ちにとる。

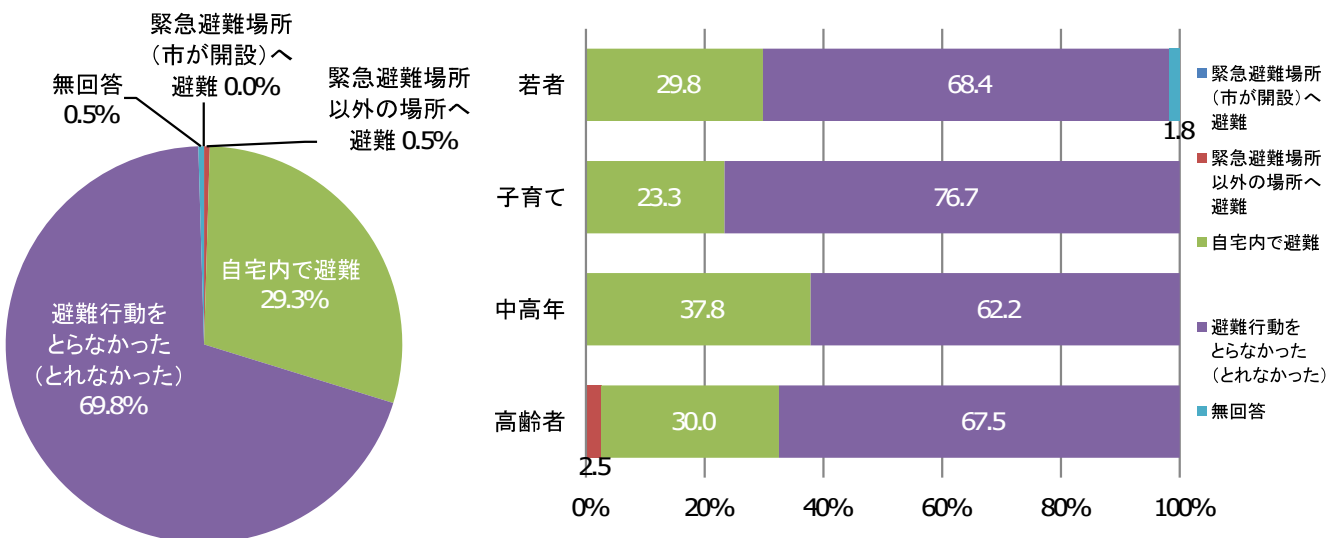
「警戒レベル4 避難指示」:災害が発生するおそれが高まっている時に発令。全員速やかに危険な場所から避難。

「警戒レベル3 高齢者等避難」:災害が発生するおそれがある時に発令。避難に時間がかかる高齢の方などとそれらの方を支援する方などは避難。



- 避難情報の認知度については、「警戒レベル3 高齢者等避難」の「聞いたことがあり、内容も理解している」が約6割と最も多い回答となっています。
- 警戒レベル別にみると、警戒レベルが低いほど「聞いたことがあり、内容も理解している」の回答割合が高くなっています。

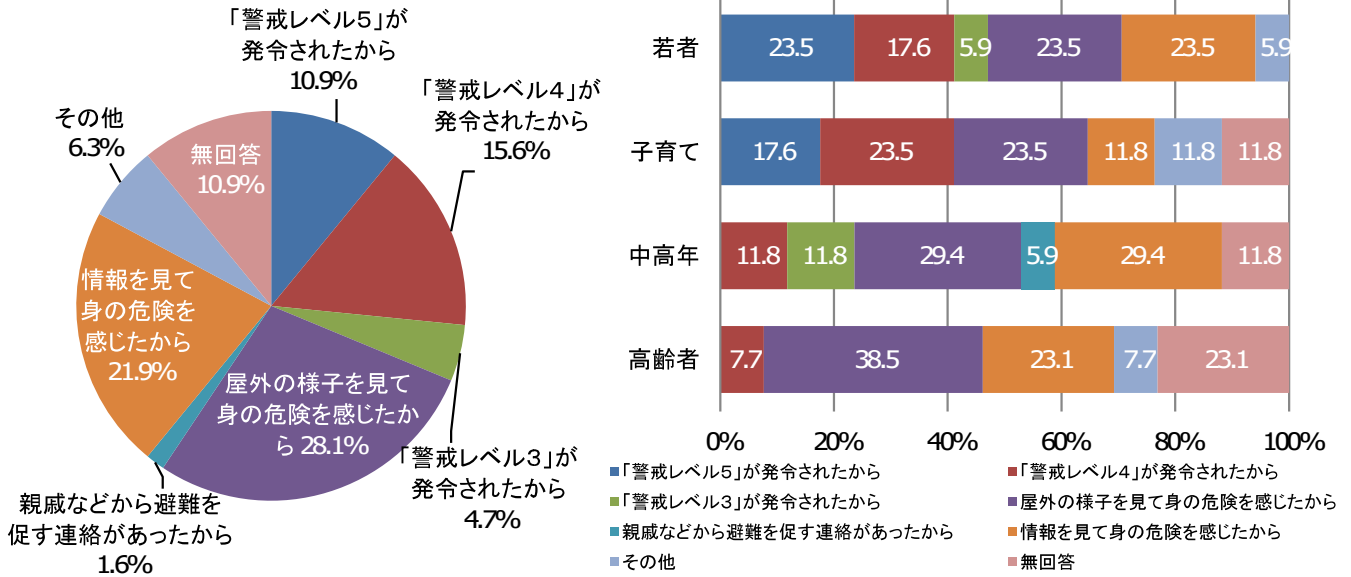
■問2 台風第15号における避難情報によりとった避難行動 (n=215)



- 台風第15号における避難情報によりとった避難行動については、「避難行動をとらなかった(とれなかった)」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「避難行動をとらなかった(とれなかった)」が最も多い回答となっています。

■問3 避難したきっかけ (n=64)

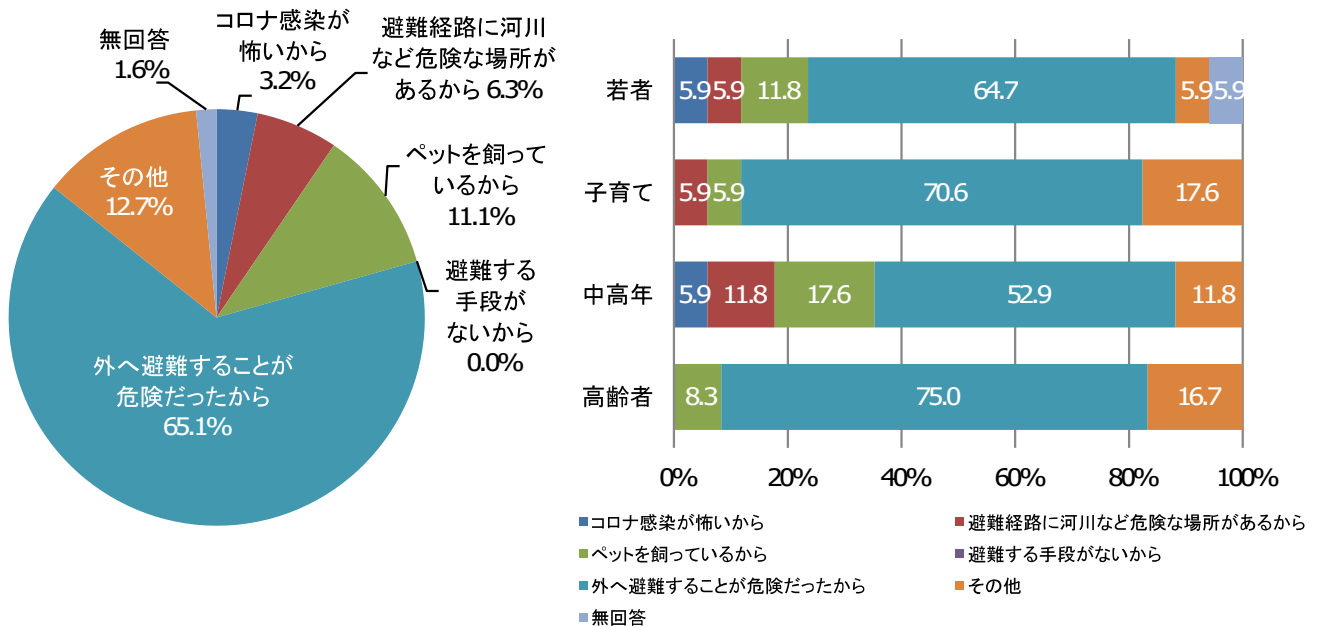
(問2で「1 市が開設した緊急避難場所へ避難した」、「2 市が開設した緊急避難場所以外の場所へ避難した」、「3 自宅内で避難した」と回答した方)



- 避難したきっかけについては、「屋外の様子を見て身の危険を感じたから」が約3割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「屋外の様子を見て身の危険を感じたから」が最も多い回答となっています(若者では「警戒レベル5」が発令されたから」と「情報を見て身の危険を感じたから」、子育てでは「警戒レベル4」が発令されたから」、中高年では「情報を見て身の危険を感じたから」も同率)。

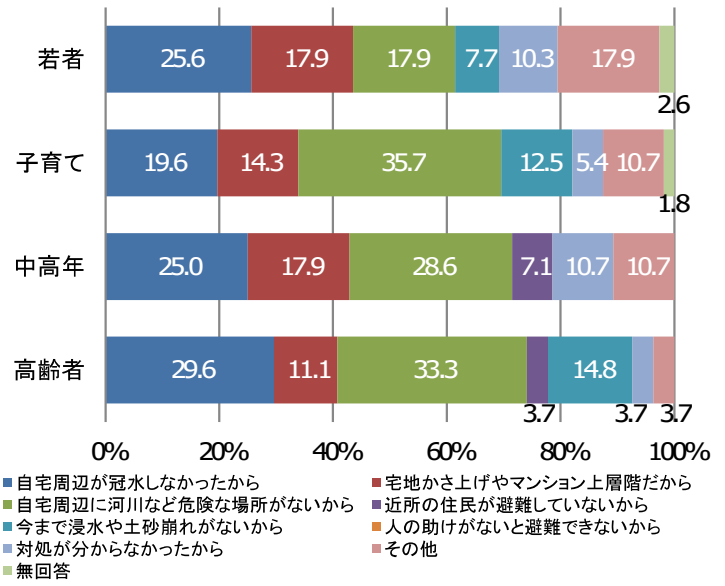
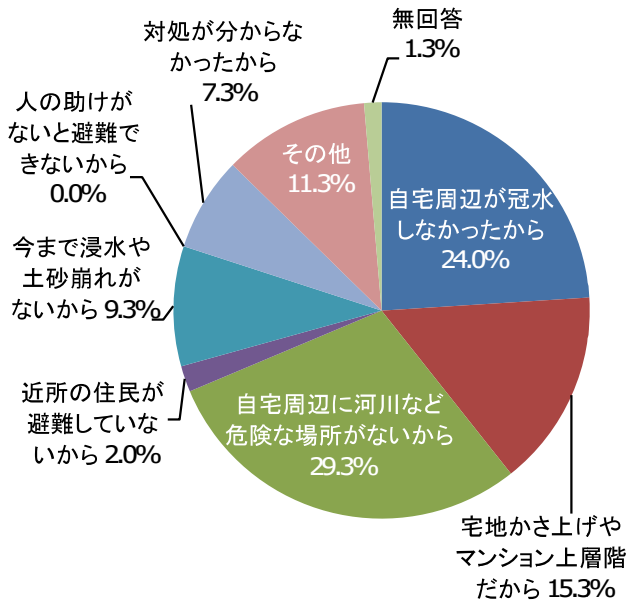
■問4 自宅以外の場所へ避難しなかった理由 (n=63)

(問2で「3 自宅内で避難した」と回答した方)



- 自宅以外の場所へ避難しなかった理由については、「外へ避難することが危険だったから」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「外へ避難することが危険だったから」が最も多い回答となっています。

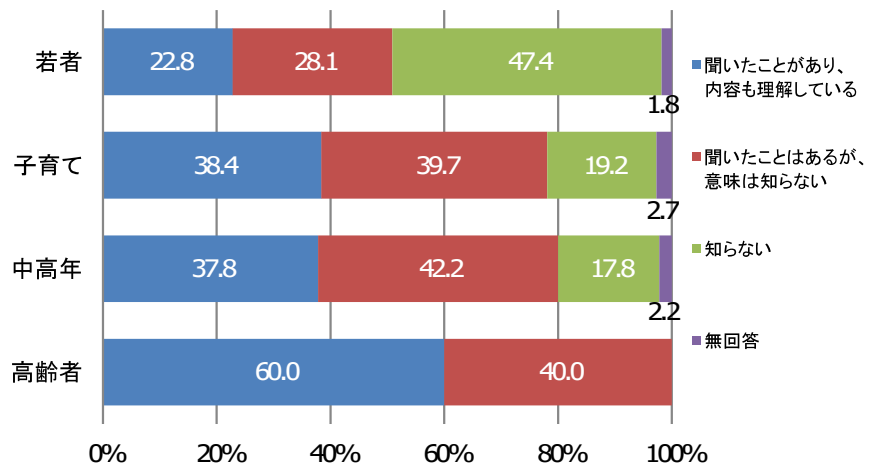
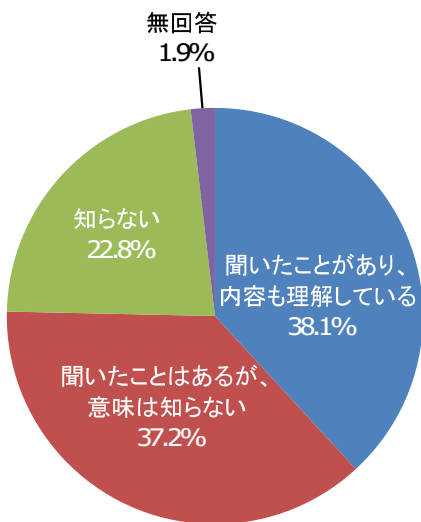
■問5 避難行動をとらなかった理由 (n=150)
(問2で「4 避難行動をとらなかった」と回答した方)



- 避難行動をとらなかった理由については、「自宅周辺に河川など危険な場所がないから」が約3割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者では「自宅周辺が冠水しなかったから」が、子育て・中高年・高齢者では「自宅周辺に河川など危険な場所がないから」が最も多い回答となっています。

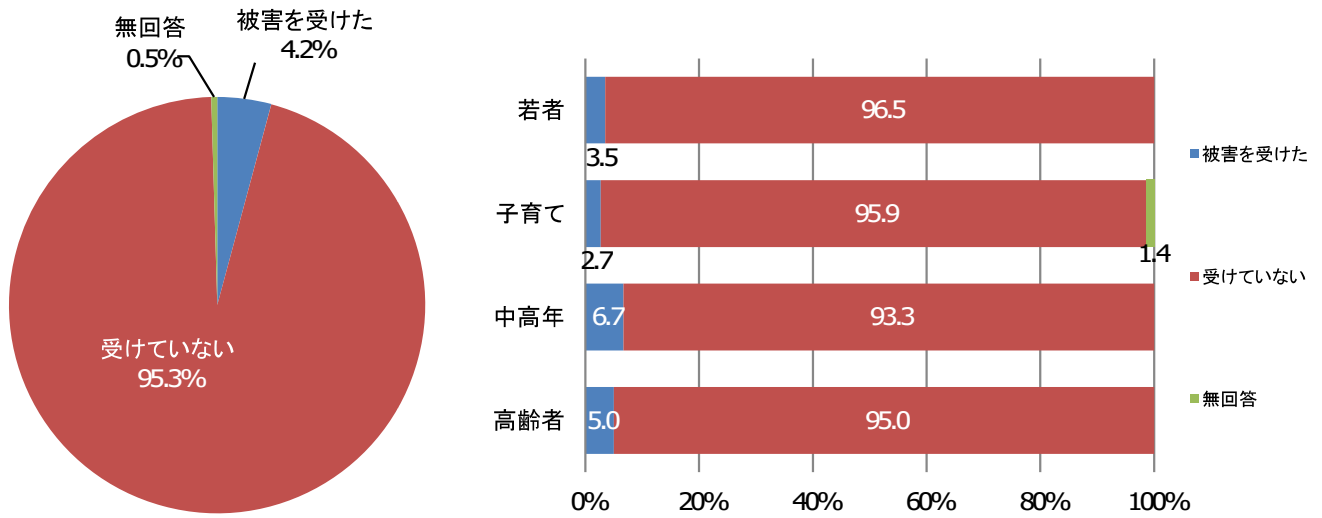
■問6 り災証明書※の認知度 (n=215)

※ り災証明書: 自然災害(火災を除く)による家屋の倒壊などの被害にあった場合に市区町村が発行。義援金の給付や応急仮設住宅の入居など様々な被災者支援を受ける時の判断材料として活用。



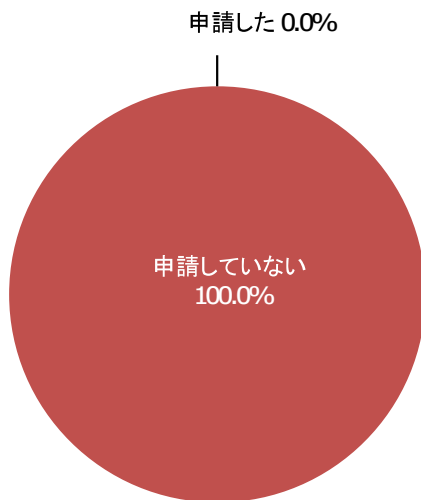
- り災証明書の認知度については、『知っている』(「聞いたことがあり、内容も理解している」と「聞いたことはあるが、意味は知らない」の合計)が約8割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『知っている』の回答割合が高くなっています。

■問7 9月2日の大雨や台風第15号での被害の有無 (n=215)



- 9月2日の大雨や台風第15号での被害の有無については、「被害を受けた」が1割未満となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての1割未満、中高年・高齢者の約1割が「被害を受けた」と回答しています。

■問8 り災証明書の申請 (n=9)
(問7で「1 被害を受けた」と回答した方)



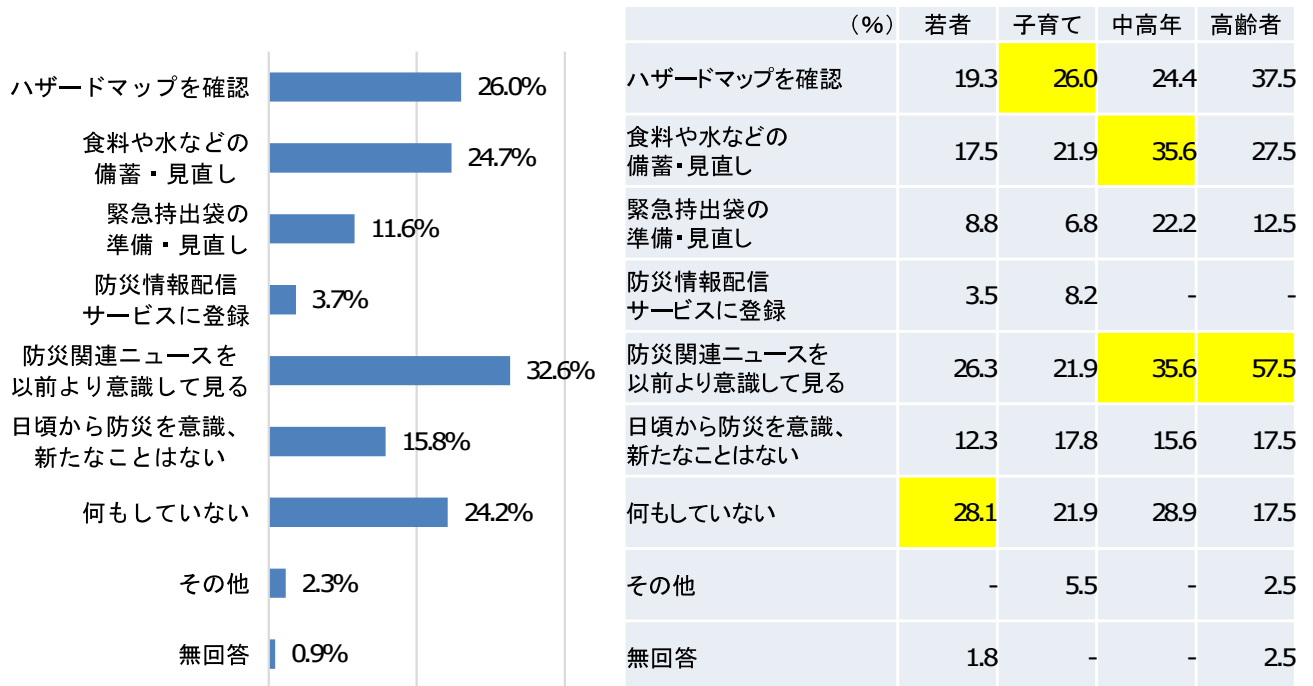
- 問7で「被害を受けた」と回答した方のり災証明書の申請については、「申請していない」が10割となっています。

■ 問9 リ災証明書を申請しない理由 (n=9)
 (問8で「2 申請していない」と回答した方)

カテゴリ	割合(%)
申請対象が分からない	55.6
申請方法が分からない	11.1
被災箇所が分かる写真がない	-
面倒だから	-
その他	33.3

■ リ災証明書を申請しない理由については、「申請対象が分からない」が約6割と最も多い回答となっています。

■ 問10 9月2日の大雨や台風第15号以降に起こした防災行動 (n=215 複数回答)



- 9月2日の大雨や台風第15号以降に起こした防災行動については、「防災関連ニュースを以前より意識して見る」が約3割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者では「何もしていない」が、子育てでは「ハザードマップを確認」が、中高年・高齢者では「防災関連ニュースを以前より意識して見る」が最も多い回答となっています(中高年では「食料や水などの備蓄・見直し」も同率)。